

新板

春 あゆん

秋 あき

百人一首

全



女中たーなみま

男女のわつらう大業此のほく
 けちまふべー
 婦とての男姑小わくは
 一物も宵にけりひめふま
 けりて親父のせくはては
 わさばるをわさふま
 又かきつらふま
 元懐はくわくは
 の腰長りのゆまの
 へたのわさばる
 何小路はくは
 人実するのわさばる

この世のわつらうは
 このわつらうは
 夫の親とて大加に
 婦人へ入ふ方
 著るまのわさばる
 飯粒の言を信
 婦小依のわさばる
 下はくわさばる
 等には足星より
 夫小をわさばる
 毎夜わさばる
 夫一人はくわさばる
 人実のわさばる

天智天皇



秋の田乃
 秋の田乃
 秋の田乃

持統天皇



白妙の
 白妙の
 白妙の

柿本人麿



柿の葉乃
 柿の葉乃
 柿の葉乃

小倉赤人



小倉赤人
 小倉赤人
 小倉赤人

藤原太政大臣



藤原太政大臣
 藤原太政大臣
 藤原太政大臣

中納言家持



中納言家持
 中納言家持
 中納言家持

● 安膳仲麿
わまはら
つらみ
みさのぶ
いで 朋々

● 嘉撰法師
わがきり
おのころ
くも
あまのついで
人まのついで

● 小坪小町
花の久は
うらみ
あまのついで
あまのついで
あまのついで

● 輝丸
是やこの
別れ
あまのついで
あまのついで

● 赤穂藩
わがきり
あまのついで
あまのついで

● 備前遍昭
あまのついで
あまのついで
あまのついで

● 陽成院
はくまの
あまのついで
あまのついで

● 光孝天皇
あまのついで
あまのついで
あまのついで

● 在野葉平
あまのついで
あまのついで
あまのついで

● 河原太右衛門
みらのくれ
あまのついで
あまのついで

● 中納言平
あまのついで
あまのついで
あまのついで

● 藤原教行
あまのついで
あまのついで
あまのついで

● 侯爵
なふん
みぢ
おの
あそび世
すく



● 元良親王
わい
あひと
あそび



● 素性法師
今
あそび
あそび
あそび



● 文正康秀
あそび
あそび
あそび



● 大江千里
あそび
あそび
あそび



● 菅家
あそび
あそび
あそび



● 三條右大臣
あそび
あそび
あそび



● 中納言義輝
あそび
あそび
あそび



● 九河内躬恒
あそび
あそび
あそび



● 貞信公
あそび
あそび
あそび



● 源宗平朝臣
あそび
あそび
あそび



● 土生忠孝
あそび
あそび
あそび



● 坂上貞則
 舟のり
 月
 刀
 舟
 舟
 舟
 舟



● 春道列村
 山
 山
 山
 山
 山
 山



● 紀友則
 久
 久
 久
 久
 久
 久



● 藤原真房
 非
 非
 非
 非
 非
 非



● 紀貫之
 人
 人
 人
 人
 人
 人



● 清原深成
 基
 基
 基
 基
 基
 基



● 文彦朝康
 志
 志
 志
 志
 志
 志



● 赤坂等
 赤
 赤
 赤
 赤
 赤
 赤



● 壬生忠見
 壬
 壬
 壬
 壬
 壬
 壬



● 右近
 右
 右
 右
 右
 右
 右



● 平兼盛
 平
 平
 平
 平
 平
 平



● 清原元播
 清
 清
 清
 清
 清
 清



●中納言 勲忠
あひだにこれ
持の公
新
しり
あひ
あひ



●中納言 初忠
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●福徳公
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●曾孫好太
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●真茶法師
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●源重之
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●大中は徳定
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●藤原実方
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●大内頼母
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●藤原義孝
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●藤原経信
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●後同三司母
あひだにこれ
あひ
あひ
あひ



●大納言公任
源乃素
久くそ
名こそ
おき
えられ



●和泉式部
あつこ
かた
おひ
今之
あふ
うか



●紫式部
あつこ
あひ
みし
そん
あま
あま
あま
あま
あま
あま



●大式三任
あつこ
あひ
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま



●藤原
あつこ
あひ
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま



●小式内侍
あつこ
あひ
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま



●伊勢大納言
あつこ
あひ
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま



●清少納言
あつこ
あひ
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま



●左大臣
あつこ
あひ
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま



●持中
あつこ
あひ
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま



●相模
あつこ
あひ
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま



●大納言
あつこ
あひ
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま
あま



● 用務僧侶
 喜兆の
 子抱
 名をぞおくれ

● 三條院
 公小も
 世き
 ながく
 秋乃夕ぐれ

● 能因法師
 嵐ふく三
 秋乃夕ぐれ

● 良暹法師
 秋乃夕ぐれ

● 大納言経修
 秋乃夕ぐれ

● 秋乃夕ぐれ

● 俊直法師
 秋乃夕ぐれ

● 西行法師
 秋乃夕ぐれ

● 康基法師
 秋乃夕ぐれ

● 皇太后院別当
 秋乃夕ぐれ

● 式子内親王
 秋乃夕ぐれ

● 醍醐院太子
 秋乃夕ぐれ

●後醍醐天皇
 みるくを
 刺米の
 さじうふ
 夜回こし
 ひろくも死ん



●二條院
 我神と志介
 ひよふね
 仲の
 人しね
 りまも
 かり



●後金成天皇
 世のわらひ
 かとも
 カタ
 わまの
 はるく
 うめも



●三条院
 みうら
 くれ秋風
 文て
 物
 長しかり



●崇徳天皇
 打つあり
 うに世の
 民よ
 我より松小
 曇るあり



●入道天皇
 花さそふ
 鹿の
 意乃
 音を
 うのわ
 我身



●崇徳天皇
 うのわらひ
 ささく
 候
 介
 四
 わるん



●後醍醐天皇
 契りを
 させも
 病
 いのち
 わんまに
 秋もいねあり



●崇徳天皇
 瀬と
 岩小
 瀬川の
 了経も
 わらむ
 とぞらふ



●源頼朝
 うのわらひ
 人
 ぶ
 ろ
 いのね



●後醍醐天皇
 和田乃
 あね
 久
 雲
 ね



●源兼光
 漢
 小
 かく
 十





1001857364

● 大友玄文の繪
大友玄文の繪



● 待賢門様荒川
待賢門様荒川



● 推山納言定家
推山納言定家



● 権徳寺のたぐ
権徳寺のたぐ



● 道圓法師
道圓法師



● 後鳥羽院
後鳥羽院



● 皇太后の御成
皇太后の御成



● 板東法橋の繪
板東法橋の繪



● 順徳院
順徳院



新編百人一首

書畫一筆

洛西佳

下河邊拾水

羨濃屋平兵衛板

京都

五條女町

● 大友玄光 捕
たまたまのこころを
かきとらふ



● 待賢門院 藤原
ふがらんをも
あはれむ



● 推山 約言 定家
あぬ人をまら
かたの酒



● 山三 隆家 隆
あはれむ



● 隆慶寺 大徳
あはれむ



● 道圓 法師
あはれむ



● 後鳥羽 院
あはれむ



● 皇太后 全 後成
あはれむ



● 友成 法橋 頼朝
あはれむ



● 順徳 院
あはれむ



新編百人一首

書畫一筆

洛西住 下河邊拾水

義濃屋平兵衛板

京都

五條下町

明治九年子三册

改名

同

義一

改川齋

用